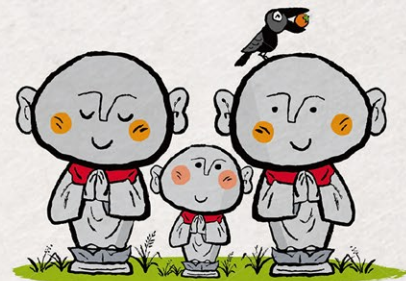


新日本 **歩く道紀行** 100選シリーズ
歩いておきたい道遺産1000

信州 みのわ 東山山麓歴史の道

各地区の
歴史散策
お勧めコース

箕輪町



箕輪町広域マップ



箕輪町は長野県のほぼ中央に位置し、天竜川が町の中央を北から南へ流れています。雄大な中央アルプスや南アルプスが、一度に眺められる絶好の場所にあり、自然や文化豊かな地域です。

箕輪町郷土博物館

(信州みのわ「東山山麓歴史の道」委員会)

長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪 10286-3(箕輪町役場南)

TEL&FAX:0265-79-4860

開館時間：午前 9:00 ~ 午後 4:30

休館日：毎週月曜日、祝祭日、年末年始



箕輪町の、天竜川より東部の地域を巡る散策コースです。
このコースは、地元の方々が協力し、汗と知恵を出し、
地域興しのために手づくりで整備を行いました。
春の桜やイワヤマツツジ、夏のアジサイ、秋の紅葉、
冬の雪景色とともに、山里の神社や寺、
城跡や古墳を巡り散策してみたいかがでしょうか。
歩くほどに、訪れるほどに、心ときめき、
好奇心が満たされるでしょう。



歩いて巡る 東山山麓

各地区の歴史散策お勧めコース

S-G = スタート、ゴール地点



大堰(用水)に沿って歩く、さわやかなコースです。

もう少しで、十沢地蔵尊です。ご利益があるといわれ、例大祭には多くの人で賑わいます。

御鹿頭奉納神事の時、ここで3回廻ってから箕輪南宮神社へ向かいます。

30基近い石造物があります。

標高差50mを一気に下る爽快なコースです。

【北小河内地区コース】
① 道標
② 無量寺
③ 五社権現
④ 砂防堤
⑤ 小河内神社

【南小河内地区コース】
① 大堰
② 堂前
③ 普濟寺
④ 日輪寺
⑤ 上ノ平城跡

【長岡地区コース】
① 源波古墳
② 長岡神社
③ 長松寺
④ 長岡公民館
⑤ 十沢地蔵尊

【福与地区コース】
① 育稚学校跡
② 秋宮社
③ 御不動様
④ 福与城跡
⑤ 観音原

【三日町地区コース】
① 福与諏訪社
② 梵地公園
③ 観音原
④ 福与大原遺跡群
⑤ てんでん山

古式が城跡

至辰野

至辰野

至長野 東京

伊那谷が遠くまで望めます。

大堰(用水)に沿って歩く、さわやかなコースです。

伊那谷が遠くまで望めます。

伊那谷が遠くまで望めます。

倒壊・消失しました

御鹿頭奉納神事の時、ここで3回廻ってから箕輪南宮神社へ向かいます。

30基近い石造物があります。

標高差50mを一気に下る爽快なコースです。

伊那谷が遠くまで望めます。

伊那谷が遠くまで望めます。

伊那谷が遠くまで望めます。

伊那谷が遠くまで望めます。

至伊那 北殿駅

伊北I.C 中央自動車道

至名古屋 至辰野

至辰野

至辰野

至辰野

至辰野

至伊那 北殿駅

至辰野

至辰野

至辰野

至辰野

至辰野

至辰野

至伊那 北殿駅

訪ねてほしい場所がある。知ってほしい道がある。
見てほしい景色がある。触れてほしい人のぬくもりがある。



北小河内 地区コース

START	1	2	3	4	5	GOAL
北小河内公民館	① 道標 北小河内公民館	② 無量寺	③ 五社権現	④ 砂防堤	⑤ 小河内神社	北小河内公民館
0分	7分 (0.5km)	3分 (0.2km)	2分 (0.1km)	19分 (1.3km)	15分 (1.1km)	



② 無量寺

約800年前、元仁元年(1224)に創建されたと伝えられるお寺で、現住職で51代を数えます。現在は高野山真言宗に属し、本尊は薬師如来です。木造阿彌陀如来坐像や宝篋印塔など多くの文化財を有しています。



② 宝篋印塔 (無量寺)

享和3年(1803)に木下の石工、木下平右衛門らによって造られました。周囲を四天王、地藏菩薩、不動明王などで囲み、東西に真言八祖像を配した壮大な宝篋印塔です。町の有形文化財に指定されています。



② 木造阿彌陀如来坐像 (無量寺)

平安時代末12世紀に造られたとされるこの像の胎内には、この像を造った仏師と寄進者と思われる藤原姓ら34人の名前が彫られています。当時の藤原庄とも関係があったと思われる。現在は、国の重要文化財に指定されています。

② 聖観音菩薩立像・地藏菩薩立像 (無量寺)

両像は像高がほぼ同じで、面などの趣やかな作風もよく似ており、一具同作(セットとして同時に造られたという意味)と認められます。平安時代後期12世紀の作とみられ、長野県宝に指定されています。

② 不動明王像・毘沙門天像 (無量寺)

制作技法や像高が似ていることから、両像は一对であると考えられています。造形的には地方作の趣があるものの、修理履歴や文献史料などから、鎌倉時代に制作された可能性が高いと考えられています。



③ 五社権現

寛政9年(1797)上諏訪の伊藤儀左衛門と弟の長左衛門によって造られた大隈流の本殿は、向拝、正面の上り竜、下り竜ともに躍動感にあふれています。町の有形文化財に指定されています。

南小河内 地区コース

START	1	2	3	4	5	GOAL
旧J A 上伊那東箕輪支所	① 大堰	② 堂前	③ 普濟寺	④ 日輪寺	⑤ 上ノ平城跡	旧J A 上伊那東箕輪支所
2分 (0.1km)	1分 (0.05km)	5分 (0.2km)	6分 (0.3km)	12分 (0.9km)	17分 (1.2km)	

① 大堰

大堰は、高台にあって生活用水や水田の水に困っていた南小河内の人々が、江戸時代の初期に、沢川(田無川)の水を取り入れて開き出した川(用水)です。この用水が天竜川と逆に向かって流れていることから疫病がはやり、「おさんやり」行事を行うようになったとされています。



③ 普濟寺

臨済宗の古刹です。参道の両側の杉、松、カヤの並木と、樹齢500年といわれる松に枯山水を配した庭園は素晴らしい、町の天然記念物に指定されています。



④ 日輪寺

知久氏ゆかりの寺と伝えられています。三度の火災により、伽藍や寺宝、重要古文書等一切を焼失。現在の建物は、大正2年に再建されたものです。深い森や古い石仏が古寺の趣を感じさせます。また現在はアシサイの名所となっています。



⑤ 上ノ平城跡

伊那源氏発祥の地と伝えられています。鎌倉時代には知久氏の拠り所となったといわれ、また、戦国時代にも使われていたことがわかっています。県の史跡に指定されていて、主郭からは、伊那谷の雄大な眺めを望むことができます。



⑤ 小河内神社

南・北小河内の境にあり、南小河内の八幡宮です。現在の本殿は、文化5年(1808)に2代目立川和四郎重昌によって造られたもので、町の有形文化財に指定されています。

長岡 地区コース

START	1	2	3	4	5	GOAL
長岡寺跡 (旧長岡町公民館)	① 源波古墳	② 長岡神社	③ 長松寺	④ 長岡公民館	⑤ 十沢地藏尊	長岡寺跡 (旧長岡町公民館)
5分 (0.4km)	7分 (0.5km)	1分 (0.1km)	5分 (0.4km)	12分 (1.0km)	13分 (1.0km)	



① 源波古墳

昭和62年に発掘調査が実施され、ほぼ原形の古墳と数多くの出土遺物が発見されました。出土した直刀、馬具、玉類等の副葬品を見ると、当時かなり力を持った豪族がこの地に居た事が考えられます。現在は、移転復元(町史跡)されて公園として整備されています。



② 長岡神社

元は八幡社で、明治5年(1872)に村社となり、翌年地名をとって長岡神社と呼ばれるようになりました。享和元年(1801)に完成した現在の本殿は、諏訪立川流の初代宮大工、立川和四郎重昌の建築です。二間社の流造で、装飾彫刻は荘厳で力強く、緻密で雄大な虹梁の龍をはじめ、社殿の周りを埋め尽くす装飾彫刻は、大変躍動的で社殿です。

③ 長松寺

曹洞宗のお寺です。境内に高遠の石工守屋貞治作の延命地藏尊があり、町の有形文化財に指定されています。



⑤ 十沢地藏尊

かつて長岡寺原地籍にあったお寺を三日町村に移した時、最後に運び出されたのがこのお地藏尊で、十沢の坂の上で動かなくなり、現在の場所に据えられたと伝えられています。日を限ってお願いすれば必ず叶えてくれるとされ、日限地藏と言われて親しまれています。毎年4月24日には例大祭が行われます。

三日町 地区コース

START	1	2	3	4	5	6	GOAL
三日町公民館	① 育輝学校跡	② 秋宮社	③ 御不動様	④ 御射山三社御旅所	⑤ 澄心寺	⑥ 御府社	三日町公民館
4分 (0.3km)	8分 (0.7km)	15分 (1.1km)	6分 (0.4km)	16分 (1.1km)	13分 (1.1km)	3分 (0.3km)	



① 育輝学校跡 (旧三日町公民館)

この場所は、かつて三日町村の「育輝学校」があった場所です。その校舎は、かつての神明宮の舞台上、明治の学制公布によって学問の場へと変わりました。その後、別の場所に小学校が建設された後は、公民館として使用されてきました。



② 秋宮社

箕輪南宮神社の神様は、毎年7月の例祭が終わると、この秋宮に御遷りになります。

③ 御不動様

一寸八分(約5センチ)ほどの金銅製と思われる立像で、秘仏であり、ご開帳の時以外は直接拝観することはできません。持ち主が、小さなお堂を建てて安置した後、御不動様にしたとの希望が高まり、お堂を含めた土地を寄付したそうです。福与城を攻めた武田信玄配下の武将の守り本尊であったとの言い伝えがあります。



④ 御射山三社御旅所

御府社(二位殿坂)、秋宮社(町裏)、御旅所(御射山)の三社を御射山三社といいます。その創建については、文安2年(1445)に箕輪城主箕輪義雄が箕輪南宮神社を一の宮から木下に遷した時、秋宮社及び御府社を建てたと伝えられています。毎年9月末の例祭には、御府社及び秋宮社の神様等を神輿に連し、区内を巡行した後、御旅所に遷座して3日間の祭を行います。古くはこれを榎屋御狩の神事といったそうです。また、秋宮社の神様は、毎年12月27日～28日にかけて深夜に箕輪南宮神社に御遷りになり、翌年7月の箕輪南宮神社例祭の後、木下・三日町区内を神輿にて巡行し、再び秋宮社に遷座されます。

⑤ 澄心寺

創建は正治元年(1199)と伝えられています。元禄13年(1700)に山火事の類焼で全堂宇を消失し、明治元年(1868)には、くらくら沢の蛇抜けといわれる山津波で禅堂、位牌堂、宝蔵、大庭園を失いました。お寺の前に立つ大スギ(町保存樹木)は、目通り周囲が530cmあり、推定樹齢は600年といわれています。

⑥ 御府社 (御神府社)

祭神は国常立尊、大日貴命、建御名方命の御子神十三神で、御府社にはいつも16社の神々が鎮座されていて、三日町の人々を見守っています。江戸時代の宝永元年(1704)に、創建以来南を向いていた社殿の向きを西向きに変えたところ、神罰があったため、延享5年(1748)に再び南向きにしたところ神罰は治まったと伝えられています。

福与 地区コース

START	1	2	3	4	5	GOAL
福与城跡	① 福与諏訪社	② 梵地公園	③ 観音原	④ 福与大原遺跡群	⑤ でんでん山	福与城跡
12分 (0.7km)	10分 (0.8km)	9分 (0.6km)	10分 (0.9km)	14分 (1.1km)	10分 (0.9km)	

福与城跡

福与城跡は、三方を断崖に囲まれた天然の要害で、東西約330m、南北約440mあります。室町～戦国時代に箕輪地方を領していた藤沢氏の居城で、16世紀中頃の城主は藤沢頼親でした。天文14年(1545)、伊那地方を手中におさめようとする武田晴信は、高遠を落とし、続いて福与城を攻めました。城主藤沢頼親は伊那衆とともに城に籠り、50日余の戦いの末、弟を人質として城を開いたと伝えられています。長野県史跡に指定されています。



① 福与諏訪社

祭神は、諏訪大社と同じ建御名方命、八坂刀貴命で、毎年10月10日に例祭を行っていました。例祭には、浦安の舞、子供相撲が奉納され、平成18年までは、青年会による祭り芸芸が奉納されていました。建物としては、18世紀に建立された本殿、神楽殿があったとされていますが、昭和46年と52年の2度の火災(落雷による)で焼失してしまったため、昭和53年に再建しました。

② 梵地公園

福与公民館に隣接する公園で、福与三塚の一つ「本性海塚」をはじめ、糞虫神などの石造物があります。このうち、「本性海塚」は「園海塚」「万海塚」とならぶ民間信仰の地で、昭和初期までは塚を記す石碑があったと伝えられますが、その後消失してしまいました。また、公園東側に、庚申塔や念仏供養塔、馬頭観音等、数多くの石造物があります。



③ 観音原

観音原には30基近い石仏があり、このうち最も古いものは享和13年(1763)の「如輪観音浮彫坐像」です。また、棚田の絶景も見事です。

④ 福与大原遺跡群

福与大原遺跡、黒津原遺跡、上の山遺跡などが所在する福与大原遺跡群は、縄文・弥生・奈良・平安時代等の多くの遺構・遺物が出土する、町内でも有数の遺跡地帯です。



⑤ でんでん山

「でんでん山」という地名は、この場所で行われる「鹿頭踊り」の太鼓の音に由来するといわれています。箕輪南宮神社の「鹿頭踊り」(鹿頭奉納神事)の際、福与公民館を出発した一行は、この「でんでん山」において神事(左まわりに3周する)を行い、箕輪南宮神社に向かいます。